

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

## 東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2020.04 >

BULLETIN

2019年7月～2020年6月



国際会長 Jennifer Jones「Building today for a better / On the MOVE! (オーストラリア)  
アジア太平洋地域会長 田中博之「アクション / 誇りと喜びを持って」(東京多摩みなみ)  
東日本区理事 山田敏明「勇気ある変革、愛ある行動」(十勝)  
関東東部部長 金丸満雄「紡ぐ ワイズのこころ」(東京ひがし)  
クラブ会長 西澤紘一「ワイズの絆をつむごう」(グリーン)

会長 西澤 紘一  
副会長 浅見 隆夫  
副会長 青木 方枝  
書記 布上征一郎  
会計 柿沼 敬喜  
監事 浅見 隆夫  
担当主事 木村 卓司

### 4月 イースター

「わたしの手や足を見なさい。まさしくわたしだ。触ってよく見なさい。亡霊には肉も骨もないが、あなたがたに見えるとおりに、わたしにはそれがある。」

< 本当に肉体をもって、イエスさまは復活なさいました。神さまにしかできないことです。この生きて働く神さまを信じて生きていきましょう。 >

(ルカによる福音書24:39)

### 2020年04月第一例会

### L T 強調月間

日時:2020年04月15日(水) 18:30～20:30  
場所:東京YMCA東陽町センター YMCAホール  
江東区東陽 2-2-20 TEL03-3615-5565

**4月例会も「新型コロナウイルス感染」の影響で東陽町での集会を中止とさせていただきます。**

3月の例会スピーカーに予定をさせていただいた東京クラブの比奈地メンには3月例会の中止で4月に予定しておりましたが5月例会でのお話を快諾いただきました。



毎年、毎年、サクラは変わらずに咲いてくれます。この季節、3月に東日本区では次期クラブ会長・部役員研修会が催され、4月、5月には各部の評議会に於いて、同様に次期部・クラブ役員の研修会が行われます。しかし今年は残念なことにコロナウイルス関連ですべてが中止となりました。

6月の東日本区大会(十勝)までが開催不能です。こういう時こそワイズメンはしっかり現実を直視し、焦らず、今世紀最大の感染症が終息するまで、出来る限りの努力を惜しまず、近い将来の明るい、楽しい、ワイズライフを始められる時まで頑張りましょう。

(布上 記)

例会出席率】 在籍:17名 メーキャップ 名 出席率 %  
出席: 3月例会中止 4月例会中止

<2020年03月・4月クラブ情報>

【新型コロナウイルス 感染予防で以下の行事を中止】

- 2月22日(土) 陽春の集い(東陽町)
  - 3月 4日(水) グリーンクラブ事業委員会(秋葉原)
  - 3月 5日(木) 午餐会(東大 YMCA)
  - 3月 7日(土) Libyコンサート(たんぼぼクラブ)
  - 3月 8日(日) ピースウオーク(ひがしクラブ)
  - 3月 7日~8日 次期クラブ会長、部役員研修会  
(東山荘一泊)
  - 3月12日(木) Yワイ歌の広場(東陽町)
  - 3月18日(水) クラブ例会
  - 3月19日(木) オール東陽町親睦会
  - 3月14日(土) 八王子チャリティーコンサート
- 
- 4月 9日(木) Yワイ歌の広場(東陽町)
  - 4月15日(水) クラブ例会
  - 4月16日(木) 第30回東京 YMCA チャリティーゴルフ
  - 4月18日(土) 第3回関東東部評議会 東陽町
  - 5月16日(土) 第81回神田川船の会
  - 6月 5日(金)~7日(日) 東日本区大会(十勝)

(布上 記)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

## Happy Birthday

4月 (該当者はおりません)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

\*\*\*\*\*  
 クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい  
 京葉銀行 こてはし台支店  
 店番号 435 口座番号(普) 6614121  
 東京グリーンワイズメンズクラブ 会計 柿沼敬喜

\*\*\*\*\*



会期：2020年6月29日(月)~7月4日(土)  
 会場：東京YMCA東陽町センター 10:00~18:00(最終日15:00まで)  
 絵画・書画・写真・CGアート・陶芸・手芸・彫刻など  
 出展申込締切 5月29日(金)  
 裏面の要項をご確認の上、出展申込書(裏面下側)にてお申込ください。

オープニングセレモニー  
 6月27日(土) 14:00~15:30

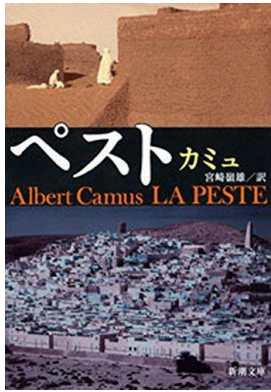
講師：菅谷 功先生(新強靱社監委員)  
 ご希望の出展作品を誘評いたします。  
 懇親茶話会：ご出展者を中心に、どなたでも  
 ご参加いただけます。(参加費300円)  
 ワクトレ演奏(飯山演ワクレレサークル)や  
 お楽しみ抽選会もあります。  
 振るってご参加ください。

ご寄付のお願い  
 豊かな芸術力を持つ、不登校の子ども、  
 障がいのある子ども、留学生たちの出展を  
 サポートいただけませんか？  
 (詳細は裏面を参照ください)



# ブリテン図書室

「ペスト」アルベール・カミュ (1947年出版)



新型コロナウイルスがパンデミック状態であると言う。中世欧州で流行し人口の3割までも死に至らせたペストをテーマに描いた小説「ペスト(アルベール・カミュ)」が良く売れていると言う。  
 それだけ感染症に対して世の中の関心を呼んでいるのであろう。

当時カミュは、ナチス占領下のパリに住んでおり、ナチスの不条理をペスト流行になぞらえて著したとも言われている。彼は、カフカと並んで、「不条理の文学者」と呼ばれている。カフカが、不条理が個人を襲うことを描いたが、カミュは、不条理が集団を襲ったことを描いている。不特定多数が神の不条理が襲うことは、人間にとって最も受け入れがたいことであろう。現在社会を襲う、天災、人災、感染症など神の不条理は、特に目立つようになってきた。

ある日、北アフリカのオランと言う小さな町で起こった小さな事件、つまり路上で大量のネズミが死んでいる光景から物語は始まる。当初、市当局も医療従事者も深刻に受け取らず、現実を見ようとしない。その内大流行が始まり、人々は右往左往することとなる。

医師リュウは、この感染症が腺ペストであることを確信し、人々に警告を発するが、世の中はなかなか信じようとしない。死者が増え始めるとオランの町は完全に封鎖され、人々は互いに疑心暗鬼となり人間関係も崩れていく。封鎖を破り脱出を図る者も出てくる。この時、神父パヌルーは、「ペストは神からの罰である」と回心を説く。しかし、善良で誠実な市民でも感染をして死に至る例が多くなる。ここでカミュは神の不条理をペストに託して語りたかったのであろう。

新聞記者のランベールは、当初脱出を試みたが医師リュウの誠実さに打たれてペストと戦う決心をする。次第にオラン市民は自分の不運を嘆くだけではなく、市民全体が被った災難と考え、それぞれが社会的責任を果たすようになる。今度は、神父パヌルーは、「ペストは神の罰ではない。神を信じるかどうかである」と説く。最後に彼もペストに冒され、神の手に委ね十字架を握りしめながら静かに息を引き取った。その内、流行もピークアウトを迎え、沈静化してゆく。

中世に流行したペスト感染症と無力な人間、神の不条理とそれでも神を信じる信仰の強さがこの小説のテーマである。昨今のコロナウイルスと対峙している私たち自身に問われた課題であると思う。

(西澤 記)

## 【 山中伸弥による新型コロナウイルス情報発信 】

<https://www.covid19-yamanaka.com/index.html>

- PROFILE HOME • 新型コロナウイルスとは • 5つの提言 • 日本の課題
- 証拠（エビデンス）の強さによる情報分類 • 専門家、書籍から学ぶ • 科学論文で学ぶ
- データから学ぶ • 報道から学ぶ • 動画で学ぶ • 他国の対策



新型コロナウイルスとの闘いは短距離走ではありません。

1年は続く可能性のある長いマラソンです。

日本は2月末の安倍首相の号令により多くの国に先駆けてスタートダッシュを切りました。しかし最近、急速にペースダウンしています。ウイルスに打ち克つためには、もう一度、ペースを上げる必要があります。一人一人が、それぞれの家庭や仕事の状況に応じた最速ペースで走り続ける必要があります。国民の賢い判断と行動が求められています。この情報発信が、皆様の判断基準として少しでも役立つことを願っています。なお本活動は個人の責任

で行っており、その内容には京都大学やIPS細胞研究所は関与しておりません。

### 2つの顔を使い分ける狡猾なウイルス

新型コロナウイルスに感染しても、多くの場合は症状が出ないようです。症状が出る場合も大半の人では咳や発熱などの軽症で終わります。そのため、多くの方は新型コロナウイルスに感染しても気づきません。そのため、感染が急速に広がる恐れがあります。一方で、一部の患者さん、特に高齢者や糖尿病などの持病をお持ちの方には、同じウイルスが牙をむいて襲い掛かります。肺炎が急速に悪化し、多くの場合、人工呼吸が必要となります。70歳以上の感染者では感染者のうち10%近い方が、数週間以内に亡くなっています。中国の報告では、20代30代であっても感染すると500人に1人くらいは亡くなっています。普段は鳴りを潜めて多くの人に感染し、ところどころで牙をむく、非常に狡猾なウイルスです。

### インフルエンザとは違う恐ろしさ

新型コロナウイルスでは、元気な方でも急激に悪化し亡くなることがあります。

ワクチンがなく、誰もが感染する可能性があります。感染すると、20%程度の方は重症化します。息切れ、激しい咳、高熱が続きます。有効な薬はないため、患者さんは耐えるしかありません。5%くらいの方では、1~2週間で呼吸困難となり、人工呼吸器が唯一の治療法となります。人工呼吸器が不足すると助かる命が助かりません。80歳以上では15%くらいの致死率です。20代、30代であっても、感染者500人に一人くらいが死亡しています。発症してから数週間で急激に亡くなるのが特徴です。感染が急速に広がると病院の対応能力が限界に達し、心筋梗塞や交通事故など他の救急患者さんも救えなくなります。医療崩壊です。イタリア、スペイン、武漢、ニューヨークなどでは、実際に人工呼吸器の不足、医療崩壊が起っています。

### 国民への協力要請と適切な補償

東京や大阪など大都市では、強力な対策を今すぐに始めるべきです。

国民に対して長期戦への対応協力を要請するべきです。休業等への補償、給与や雇用の保証が必須です。

短期間の自粛要請を繰り返すと、国民は疲弊します。厳格な対応をとっても、中国では第1波の収束に2か月を要しました。アメリカでは3か月と予測しています。第1波が収束しても、対策を緩めると第2波が懸念されます。対策は、ワクチンや治療薬が開発され、十分量が供給されるまで続けなければなりません。数か月から1年にわたる長期休業の間、事業主に対しての補償、従業員に対しての給与の支払いや再開時の雇用の保証を、国と自治体が行う必要があります。

### ワクチンと治療薬の開発に集中投資を

ワクチンの開発には1年は要する見込みです。アピガン等の既存薬が期待されていますが、副作用も心配されます。新型コロナウイルスの特性に応じた治療薬の開発が緊急の課題です。アメリカ等でワクチンや治療薬が開発されても、日本への供給は遅れたり、高額になる可能性もあります。産官学が協力し、国産のワクチンと治療薬の開発に全力で取り組むべきです。

上記はいまNHKなどでも話題の〈山中伸弥教授のウェブサイト〉の情報です。定期的に更新されています。その一部をここに掲載いたしました。なお、上記の各項目についてのすべては掲載できませんので、詳しくはウェブサイトをご覧ください。（無断転載させていただきました：布上）

1. 2月23日～3月1日、松本(数)氏(TYIS 国際部)、戸坂氏(総務部、国際部)押山氏(山手コミュ)、木村(東陽町コミュ)計4名の職員がミャンマーYMCA同盟、及びネピドYMCAを訪問しました。ネピドYMCAが行うモバイルクリニック等のプログラムの視察、ネピド近郊の村訪問、植樹や道路舗装のボランティアワーク、役員や教会に連なるユースとの交流の時間をもちました。今後、ユース同士の交流やスタディーツアー実施の可能性について検討していきます。東陽町のコミュニティーでは野外活動以外の分野でボランティアリーダー、ジュニアリーダーの組織が活躍しています。下町子どもダイニング(子ども食堂)や、にほんご de café など地域活動に特化した活動を行っています。昨年からは国際平和活動にもリーダーが参加しました。次年度からは地域に根ざし世界を見つめるリーダーの育成を目指しております。次年度以降、更なるリーダーの活躍にご期待下さい。



2. 各学校では下記の通り学生が卒業しました。コロナウイルス感染拡大防止のため、卒業式は当初予定を変更する形で実施しました。

- ・社会体育・保育専門学校 3月10日(校内) 卒業生 107名
- ・医療福祉専門学校 3月11日(校内) 卒業生 38名
- ・国際ホテル専門学校 3月12日(早稲田奉仕園スコットホール) 卒業生 117名
- ・高等学院 3月14日(日本基督教団霊南坂教会) 卒業生 14名
- ・にほんご学院 3月14日(校内) 卒業生 53名

3. 今後の主な行事日程

- ・第18回会員大会 5月23日(山手センター)
- ・東京YMCA創立140周年感謝礼拝 5月30日(日本基督教団銀座教会)
- ・第34回インターナショナル・チャリティーラン 9月13日(都立木場公園)
- ・国際協力一斉街頭募金 9月26日(新宿駅周辺)